

ペインクリニック（痛みの外来）

当科では、常勤医師2名、非常勤医師1名の計3名体制で毎週水曜の午前に診療を行っております。

ペインクリニックは『痛み』に対して診断治療を行う診療科です。

痛みには大きく分けて急性疼痛、慢性疼痛の2種類があります。急性疼痛の多くは検査、診断によりその原因に対する治療を行うことが重要となります。ヘルペス後神経痛や三叉神経痛などを代表とする慢性疼痛の場合、痛みが強く薬が効かないこともあり、疼痛除去のために専門的な治療が必要となります。

当科では、様々な痛みに対して治療を行いますが、その1番の大きな特色は神経ブロックによる治療となります。神経ブロックとは、痛みを伝える知覚神経や交感神経に局所麻酔薬等を注射することで痛みを鎮める治療法です。複数回施行することで、血行の改善、炎症の緩和等もあり治癒していきます。副作用に関しても重篤なことが起こることはほとんどありません。

皆様のお役にたてるよう、スタッフ一同頑張っていきたいと考えております。

診療内容

➤ 【神経ブロック】

局所麻酔薬等を注射して、痛みに関わっている神経に作用されることにより、痛みの情報が脳に伝わるのを遮断（ブロック）する治療法です。痛みに関わっている神経には「知覚神経」「交感神経」「運動神経」の3つがあります。知覚神経は興奮することで痛みの情報を脳に伝えます。交感神経や運動神経が興奮すると、血管や筋肉が収縮して血流が低下し、痛みを助長します。そこで、これらの神経の働きを抑え、痛みの情報が脳に伝わらないようにするのです。

➤ 【神経ブロックの効果】

神経ブロックを行うと、一時的に痛みが治まりますが、局所麻酔薬の効果が消えれば、また痛みがぶり返してきます。しかし、神経ブロックを繰り返すことで多くの場合、次第に痛みそのものが軽くなってきます。神経ブロックによって血流が改善されて、発痛物質が押し流されるため、徐々に患部の炎症が治まり、痛みも軽減されるのです。治療回数や効果の現れ方は、痛みの程度や神経ブロックの種類によって異なります。通常は、様子を見ながら数回行い、痛みが軽減しているようなら、さらに繰り返し行います。